

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-012-82-2	2023通年	医学教育部(20130)	1, 2, 3, 4	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
発達生育医学理論【Reproductive and Developmental Medicine】(C4 発達生育医学理論)			中村 公俊, 日比 泰造, 近藤 英治, 大場 隆, 仲里 仁史, 三淵 浩, 松本 志郎, 岩井 正憲, 齋藤 文誉, 山口 宗影, 小篠 史郎, 磯野 香織, 阿南 浩太郎, 澤田 貴彰, 濱崎 孝史		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力……30% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力……30% 3.グローバルな視野と行動力……30% 4.地域社会を牽引するリーダー力……10%					
授業の形態	その他				
授業の方法	質疑応答、Power Point などを活用する。遠隔地の学生や社会人学生には補講、e-ラーニング、レポートなどで対応する。				
授業の目的	発達生育医学理論講義では以下のことを理解することを目標とする。(1)ヒトの受精、妊娠における生理機能と病態についての基本的な知識の習得、(2)出生に至るまでの医学的な介入とその社会的な意味の理解、(3)ヒトの発育、発達に関する生理的な状態と病的状態の基本的知識の取得、(4)遺伝性疾患、神経筋疾患や外科疾患、移植医療など、小児期の多様な疾患に関する理解。				
学修目標	【A水準】 発達生育医学に関わる基本的な知識と先進医療における問題について、生理と病理、病態と治療、技術と倫理的側面から理解する。さらに、妊娠や出産、未熟児医療や生殖補助医療、出生前診断や難病対策、外科疾患、移植医療などについて、十分に達成しているレベルをA水準とする。 【C水準】 発達生育医学に関わる基本的な知識と先進医療における問題について、生理と病理、病態と治療、技術と倫理的側面から理解する。さらに、妊娠や出産、未熟児医療や生殖補助医療、出生前診断や難病対策、外科疾患、移植医療などについて、最低限達成しているレベルをC水準とする。				
授業の概要	発達生育医学における最も重要な事柄及び最近注目されている研究の進歩について紹介する。妊娠、出産に関する講義では、出産に至る過程に存在する様々な問題について考え、妊娠の継続に重要な胎盤の生理と病理、医学的な介入方法などを学ぶ。また、性分化異常の病態と治療についての基本的な考え方と医学的介入に関する知識を習得する。妊娠出産にいたる胎児の発育は未熟児医療の問題とも直結している。そこで、未熟新生児の生理について学び、未熟児に特有な病態や疾患などについて考える。近年、生殖補助医療の分野で進歩は目覚しく、その経験も深まりつつある。生殖補助医療の基本と最近の進歩を学ぶとともに、その倫理的側面について考える。一方、出生前診断の技術と応用例を学ぶ。その倫理的側面についても議論したい。さらに、新生児外科疾患、小児の臓器移植について理解を深める。小児期の疾患ではその概要、病態、治療について具体的な症例に学ぶとともに、最近の進歩まで俯瞰したい。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		仲里 仁史 教授【eJ-0】	遺伝性腎疾患について		
2	10/12	5時限 岩井 正憲 講師	日本における近年の新生児集中治療と新生児低酸素性虚血性脳症に対する新たな治療戦略について概説する。1.新生児集中治療室、2.新生児低酸素性虚血性脳症に対する新生児低体温療法、3.エリスロポエチンを用いた神経新生、血管新生、再髄鞘化について研究内容の3つについて紹介する。		
3	10/19	5時限 三淵 浩 特任教授	先天異常と遺伝カウンセリング		
4		中村 公俊 教授【eE-0】	小児難病の早期診断と治療		
5	11/02	5時限 阿南 浩太郎 助教	小児内分泌疾患の分子病態と治療戦略		
6	11/09	5時限 濱崎 孝史 非常勤講師	小児遺伝性疾患の酵素補充療法と遺伝子治療		
7	11/16	5時限 小篠 史郎 特任講師	小児神経筋疾患の分子病態と治療戦略 —Duchenne型筋ジストロフィー、脊髄性筋萎縮症—		
8	11/30	5時限 松本 志郎 准教授	生体内アミノ酸代謝と疾患		
9	12/07	5時限 澤田 貴彰 助教	小児希少疾患に対する新たな診断法と治療法		
10		大場 隆 准教授【eJ-0】	胎児異常の出生前診断とその倫理		
11	12/21	5時限 近藤 英治 教授	妊娠高血圧腎症の管理		
12		齋藤 文誉 助教【eJ-0】	ヒト子宮内膜の構造、生理と病理、ならびに癌化		
13		山口 宗影 講師【eJ-0】	ヒト胎盤絨毛マクロファージの多彩な機能と周産期疾患		
14	01/25	5時限 磯野 香織 助教	新生児外科的疾患における出生前診断と周産期管理		
15	02/01	5時限 日比 泰造 教授	小児患者に対する臓器移植の適応と成績		
授業外学修時間の目安	・本科目は、90時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は30時間分(2h×15コマ)となるため、60時間分相当の事前・事後学修(課題等含む)が、授業の理解を深めるために必要となる。				
テキスト	Nelson Textbook of PEDIATRICS				
参考文献	特に指定しない。				
履修条件	特記無し				
評価方法・基準	講義中の内容を通して学んだことをレポートとして提出し、点数により評価する。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				